

市長発言要旨

【発表事項】

① 名誉市民上杉邦憲様お別れの会の開催について

昨年御逝去されました本市名誉市民 上杉邦憲様のお別れ会を7月12日に伝国の杜にて開催し、邦憲様の御功績を顕彰し、故人を偲びたいと思います。主催は、名誉市民上杉邦憲様お別れの会実行委員会であり、実行委員長は私です。

内容については、弔謡、主黙祷、来賓弔辞、遺族代表謝辞、献花を予定しており、御香典・御供物は固くお断りいたします。関係の深かった方々への御案内のほかに、広報やHPでお知らせしますが、幅広く指紋の皆様にも御参列をいただきたいと思います。

② 米沢上杉まつりについて

今年の「米沢上杉まつり」は、令和8年4月29日（水・祝）から5月3日（日・祝）までの5日間にわたり開催されます。

主な行事をご紹介します。初日4月29日（水・祝）は、伝国の杜周辺で「開幕祭」が開催されます。「民謡流し」では、今年は25年ぶりに「新花笠音頭」が復活いたします。総勢26団体、約800名の皆様が、新花笠音頭と花笠音頭の交互パレードで、お祭りの開幕を盛大に盛り上げてくださいます。また、ステージイベントでは35団体、約520名の皆様が様々なパフォーマンスを披露して、お祭りを盛り上げていただけます。

4月30日（木）と5月1日（金）には、伝国の杜前特設ステージにて「武将隊と上杉太鼓 魂の響演」が開催されます。「米沢民謡一家」による勇壮な太鼓と、「やまがた愛の武将隊」による演武に加えまして、埼玉県、福島県の武将隊の皆様もご参加を予定されており、迫力ある演舞で皆様を魅了します。

5月2日（土）には、上杉家廟所から上杉神社まで武てい式軍団行列が行われ、その後、伝国の杜前広場で「武てい式」が厳粛な雰囲気の中で執り行われます。

そして、お祭りの最終日の5月3日（日・祝）には、米沢市内一円におきまして「上杉行列」が開催されます。御神輿渡御や小学校のパレード、上杉軍団行列が市街地を練り歩き、まるで歴史絵巻のような光景をご覧ください。

3日午後には、松川河川敷で、お祭りのクライマックスを飾る「川中島合戦」が繰り広げられます。

今年の「米沢上杉まつり」でも、上杉謙信公という大変重要な役柄を担っていただく方を一般公募し、全国から多数のご応募をいただきました。厳正な審査の結果、上杉軍団行列の上杉謙信公役は、新潟県胎内市にお住まいの渡辺 悟（わたなべ さとる）様に決定しました。

また、川中島合戦の大將役につきましても公募を行いまして、全国から23名もの方々にご応募いただきました。その中から、上杉軍、武田軍合わせて7名の方々が選出されました。市民の皆様はもちろんのこと、全国からお越しくださる観客の皆様にも、臨場感あふれる戦国の世界をご体感いただけることと期待しております。

また、米沢上杉まつりでは、例年、多くの姉妹都市及び交流都市の皆様にも多数ご来訪いただいております。今年は、姉妹都市から、高鍋町、上越市、南魚沼市、東海市、沖縄市、西尾市より、町長様、

市長様をはじめとする皆様がお越しくさせていただきます。

また、交流都市からは、仙台市、福島市、相馬市、伊達市、会津若松市、喜多方市、朝倉市から、副市長様、議長様等の代表者の方々にご参加いただく予定となっており、総勢 45 名もの皆様が、この米沢上杉まつりを共に盛り上げてくださいますことに、心より感謝申し上げます。

次に、米沢市が誇る国宝「上杉本洛中洛外図屏風」と「上杉家文書」の公開について報告させていただきます。

「上杉本洛中洛外図屏風」が、約半年の期間をかけて大規模な修理を終え、この度、修復後初めての一般公開となります。前回の修理から 25 年が経過し、経年劣化による剥離やひび割れが見られましたが、今回の丁寧な修復により、本来の輝きを取り戻し、より美しい姿で皆様にご覧いただけます。

今回の展覧会『上杉謙信と川中島合戦』では、修復を終えた洛中洛外図屏風とともに、上杉家文書に記された川中島合戦の新資料を公開いたします。謙信と信玄の激闘を、新たな視点から紐解く貴重な機会となりますので、ぜひ、上杉博物館に御来場ください。

また、国宝は、劣化防止のため展示期間が年間 60 日以内となっており、今回の展示では 30 日間展示いたしますので、この機会にぜひ米沢市上杉博物館へ足をお運びください。

米沢上杉まつりは、米沢の歴史と文化を象徴する、市民の皆様にとっても、そしてご来訪されます皆様にとっても特別な意味を持つお祭りでございます。ゴールデンウィークは、ぜひ米沢にお越しいただき、上杉まつりの熱気と感動を肌で感じていただきたいと思っております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

③ 二十歳のつどい開催のお知らせ

今年も 5 月 4 日（月・祝）に米沢市市民文化会館を会場に「二十歳のつどい」を開催いたします。今年の対象者は 761 名です。ぜひ、多くの二十歳の皆さんにご参加いただきたいと思っております。

今年が目玉は、大きく分けて 2 点ございます。

1 点目は、トークセッションです。若手農家の「米利休（こめのりきゅう）」さんと実行委員が、二十歳の今、何を考え、どのように生きていくかについてトークセッションを行います。参加者の皆さんが自身の未来を考えるきっかけとなるような、有意義な時間になることと期待しております。

2 点目は、中学校対抗校歌合戦です。出身中学校ごとに校歌の 1 番を歌い上げるという、ユニークな企画です。懐かしい校歌を皆で歌い、旧友との絆を深める良い機会になることと思っております。

761 名の方々が対象となっています。

イベント終了後には、西條天満公園にフォトスポットを設置し、記念撮影をお楽しみいただけます。「かねたん」と「おせんちゃん」も登場し、思い出に残る一枚を撮影できる予定です。

二十歳の皆さんにとって、このつどいが人生の節目となる素晴らしい一日となるよう、実行委員の皆さんと共に準備を進めております。ぜひ、多くの二十歳の皆さんに足をお運びいただき、かけがえのない思い出を作ってくださいと願っております。

④ 米沢市公営住宅長寿命化計画のパブリック・コメントの募集について

次に「米沢市公営住宅長寿命化計画パブリック・コメント」の募集についてお知らせします。

本市の市営住宅は、現行の「米沢市公営住宅長寿命化計画」に基づき用途廃止や改善事業を進めてま

いりましたが、計画の見直し時期を迎え、社会情勢の変化や現行計画の進捗を踏まえた再評価を行いました。

この度新たな「米沢市公営住宅長寿命化計画（改定）（案）」を取りまとめましたので、市民の皆様から広く意見をいただくため、パブリック・コメントを実施いたします。

今回の計画では大きく二つの方針を柱としております。

1つ目に、人口減少社会に対応した持続可能な住宅管理です。

将来の管理負担軽減を目的に、将来の公営住宅の必要戸数を踏まえ、老朽化が進んだ住宅の用途廃止を進め、市営住宅戸数の最適化を図ります。

2つ目に、予防保全によるコスト縮減です。

計画的な改修工事や修繕を行っていくことで、建物寿命を従来の50年から70年へ延ばし、維持管理に係るコストを年間約3,500万円削減し、建物を長く使いながら、限られた財源の中で効率的な住宅運営を行ってまいります。

市営住宅の具体的な用途廃止計画についてですが、現在、市営住宅は8団地600戸を管理しておりますが、このうち老朽化した108戸を解体し、令和17年度末までに6団地492戸へ再編します。

本計画内容の内訳につきましては、解体予定の団地としまして、吾妻(あづま)町団地、雲雀(ひばり)が丘団地、金池団地1～3号棟の計108戸に加えて、すでに市営住宅の管理条例から削除されている改良住宅です。

次に、国の補助金等を活用し、改善工事を実施する団地は、林泉寺団地で72戸です。次に、随時修繕により維持管理を行う団地は窪田団地D棟、太田町団地5～8号棟、塩井町団地で、計192戸です。

また、金池団地4～6号棟、相生(あいおい)町団地、窪田団地A～C棟、太田町団地1～4号棟については将来的な廃止を見据え、政策空き家とし、市営住宅における令和17年度末の入居可能戸数を、344戸と設定しております。

これに対し、先ほどの市営住宅の入居可能戸数344戸と（県営住宅長寿命化計画により示された）県営住宅の戸数約380戸、合わせて約720戸を確保し、住宅支援が必要な世帯をカバーする計画としております。

なお、本計画の期間は、令和8年度から17年度の10年間としています。

以上が、公営住宅長寿命化計画の概要であります。パブリック・コメントは、5月1日から5月20日までの20日間に実施し、より多くの市民の皆様からご意見をいただきたいと考えております。

【回答事項】

- ① 東成中の開校延期に関する市民向け説明会を実施した結果、住民の意向を市はどのように総括しましたか。また、説明会で寄せられた意見を踏まえ、27日時点で開校延期方針に変更はありますか。

東成中学校の開校時期につきましては、条例で令和11年4月と定められております。しかしながら、ここ数年間の物価高騰や社会情勢・気候変動により、財政状況をはじめ行政を取り巻く状況は大きく変化しており、その対応の方策の一つが、東成中学校の開校延期であります。開校を3年間延期し、延期により余剰となる経費を中学校体育館のエアコン設置に使わせていただきたいと思いますと考え、市民の皆様から御意見をいただきたく、地区説明会を実施しました。

参加人数は、上郷コミセン会場には32名万世コミセン会場には21名、東部コミセン会場には11名で、幅広い年齢層の方に参加いただいたところです。（人数には報道、議員含む）

いただいた意見としましては、

- 延期には賛成だが、その場合の通学路はどうなるのか。
- 現在のスクールバスの4kmという線引きはいかがなものか。
- エアコン設置を最優先にしてほしい

このような、延期の考え方に賛同するご意見があった一方、

- (予定どおりの統合となれば) 中学校3年生の時には、中学校進学に伴い分かれることとなる友達とまた会えると楽しみにしていた。

というような、延期の考え方には反対とのご意見もいただいたところです。

また、説明会に参加された方へのアンケートでは、42名の方に回答をいただきました。そのうち、延期の考え方に、「納得できた」が27名、「概ね納得できた」14名でありましたので、98パーセントの方が「納得できた」あるいは「概ね納得できた」との回答であった状況です。

私としては、参加人数は大人数とはいかないまでも、大変貴重な意見をいただいたものと認識しているところです。

現在のところ、東成中学校開校延期の考え方についての変更はありませんが、さきほどご紹介しました説明会での意見やアンケートの結果、「やまがたe申請」に寄せられている意見、また当事者であり影響を受ける7中学区の小学校6年生、5年生、4年生の皆さん、保護者の皆さんの率直な意見を聞く努力を重ねたうえで、庁内で議論をし、条例の改正案提出の可否を判断したいと考えているところです。条例の改正案を提出する場合は、6月定例会が適切と考えています。